



工学院大学の『石巻市北上町白浜復興住宅』建設への協力について

日本土地建物販売株式会社は、工学院大学が学園創立125周年記念事業として、宮城県石巻市で進めておりました『石巻市北上町白浜復興住宅』建設に関して、事業スキームのコンサルティングや契約書の作成などにおいて協力させていただきましたが、11月23日(水)、現地にて入村式が行われ、被災者の方々の入居が始まりましたのでお知らせいたします。

□石巻市北上町白浜復興住宅について

工学院大学による『石巻市北上町白浜復興住宅』は、東日本大震災で住居を失った多くの被災者に、応急措置の仮設住宅ではなく、本格的な生活再建のために新たな恒久住宅を建設してご入居いただき、東北地方の美しい「村」を再生することを目的としたプロジェクトです。

このプロジェクトは、工学院大学建築学部的设计・企画によってスタートし、募金や多くの協力企業により実現したのですが、当社グループは同大学建築学部 後藤教授が推奨する、「仮設住宅と常設復興住宅のバランスよい供給こそが被災者の生活再建と地域復興に必要」との考えに共感し、事業スキームの構築や契約書類の雛形作成、運営に伴う管理費用の算定などの業務について協力をさせていただいたものです。



写真左上：入村式で挨拶をする工学院大学水野明哲学長

写真右上：贈呈状と鍵を授与される入居者。

写真左下：新築の住宅の前で、右から

日本土地建物販売 営業一部 曾我克彦部長

光和総合法律事務所 古川晴雄 弁護士

工学院大学 水野明哲 学長

工学院大学 橘昇 理事

光和総合法律事務所 木谷太郎弁護士

日本土地建物販売上野支店 中内亮 副課長

□プロジェクトの概要

【Project の概要】

- 名称 石巻市北上町白浜復興住宅
- 敷地 宮城県石巻市北上町大字十三浜字下山15-2、56-1、57、64-16
敷地面積 4,989 m² /所有者有限会社熊谷産業
都市計画区域外及び準都市計画区域外・宅地
用途地域：指定なし、防火地域：指定なし
- 建物 住宅11 棟
木造平屋、建築面積44.19 m²、延べ床面積42.96 m² 3 棟
木造2階、建築面積34.70 m²、延べ床面積62.79 m² 7 棟
木造2階、建築面積52.46 m²、延べ床面積102.03 m² 1 棟
いずれも伝統工法による
木造2階の1 棟は共同利用が可能な住宅で、他10 棟は個人住宅の予定。
共同利用の住宅は、孤児や身寄りのない老人が共同で生活出来たり、その浴室・便所を共同利用しながら、2 階建の住宅に2 世帯が当分の間居住したりすることも可能なので、東北地方に旧来からあった互助精神のある共同体を保護・維持することに貢献できるものと考えている。
- 設計 工学院大学建築学部
担当：関谷真一（結設計室代表、工学院大学客員研究員・前非常勤講師）
指導：谷口宗彦（工学院大学建築学部建築デザイン学科教授）
- 工事 株式会社芽ぐみ
宮城県石巻市北上町
「芽ぐみ」は、北上町の地域振興を目的とするまちづくり会社。同社の施工管理の下、数社の地元工務店が地元の大工職人を使って建設を行う。
- 居住者 白浜地区の皆さん/同地区は震災により家屋が壊滅しました
漁業・養殖業等の現地での生活再建の必要性が高い方、老人世帯等の生活再建が困難な方等から優先的に居住していただけるよう、現地協力者（自治会長、副会長他）の方々に居住者の選定をお願いしている。
- 管理運営 工学院大学が土地所有者から借地し、建物を建設。建物の所有は、工学院大学。大学は、建物を管理運営するNPO に無償貸与。NPO は、居住者に建物を転貸し、居住者から管理費を徴収して、建物の維持管理、土地の固定資産税納入等の必要な管理運営を行う。管理費は、2階建27,000 円、平屋20,000 円（月額）以内で運営可能な予定。
- 建設資金 工学院大学 125 周年記念の募金事業による